

# 北見工業大学学報

第230号 (2008年11月号)

## 目 次

入 学 式	平成20年度秋季大学院入学式举行……………	2
研 究 助 成	平成21年度科学研究費補助金申請件数一覧(学科等別)……………	3
	平成20年度(財)住友財団 環境研究助成 交付決定……………	4
	平成20年度(財)北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団) 研究開発助成事業(若手研究人材育成事業)交付決定……………	4
	平成20年度共同研究の受入状況……………	5
	平成20年度受託研究の受入状況……………	5
	平成20年度奨学寄附金受入状況……………	5
人 事	人事異動……………	6
国 際 交 流	台湾4大学で進学説明会を実施……………	7
諸 報	ISO14001 登録継続の承認について……………	8
	父母懇談会(秋季・盛岡、大阪)を開催……………	9
	消防訓練を実施……………	10
	平成20年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式……………	11
	健康チェック及び栄養士による栄養相談を実施……………	12
	科学技術総合研究委託「地域再生人材育成事業採択校連絡会議」 :メガ・ウェンズデー開催……………	13
日 誌	10月・11月……………	15

## = 入学式 =

### 平成 20 年度秋季大学院入学式挙行

(総務課)

平成 20 年度秋季大学院入学式が、10 月 1 日(水)午前 10 時から本学第2会議室で行われました。

学長から、留学生並びに社会人を含む5人

の入学が許可された後、学長式辞、役職員等の紹介が行われ、式は無事終了しました。

入学者は次のとおりです。

#### 大学院博士前期課程

専攻名	入学者数(人)
情報システム工学専攻	1
土木開発工学専攻	1

#### 大学院博士後期課程

専攻名	入学者数(人)
システム工学専攻	2
物質工学専攻	1



式辞を述べる鮎田学長



入学が許可された入学生たち

= 研究助成 =

平成21年度 科学研究費補助金申請件数一覧(学科等別)

(研究協力課)

研究種目等	機械工学科		社会環境工学科		電気電子工学科		情報システム工学科		バイオ環境化学科		マテリアル工学科		共通講座		センター等		合計		
	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	
特別推進研究																	0	0	
新学術領域研究 (研究領域提案型) (計画)																	0	0	
新学術領域研究 (研究課題提案型)																	0	0	
特定領域研究 (計画)																	0	0	
特定領域研究 (公募)											(1)	(1,600)					(1)	(1,600)	
基盤研究(S)											1	88,800					1	88,800	
基盤研究(A) (一般)	1	22,430	(1)	(6,300)							1	28,300			(1)	(5,000)	(2)	(11,300)	
基盤研究(A) (海外学術調査)											1	18,450					1	18,450	
基盤研究(B) (一般)	3	19,993	(2)	(5,400)			(1)	(1,600)			3	37,865			1	12,038	(3)	(7,000)	
基盤研究(B) (海外学術調査)					1	7,240					1	4,750		1	1,150	1	6,798	4	19,938
基盤研究(C) (一般)	13	31,448	(1)	(800)	(4)	(3,200)	(1)	(800)	(4)	(2,800)	4	9,077	4	4,995			(10)	(7,600)	
挑戦的萌芽研究	4	6,757	5	12,900	1	2,653	(1)	(700)			2	5,150	(1)	(1,100)	2	4,288	(2)	(1,800)	
若手研究(S)			1	18,300													1	18,300	
若手研究(A)					1	1,600					(1)	(3,200)					(1)	(3,200)	
若手研究(B)	2	6,221	(1)	(700)			(1)	(700)			3	8,639	2	1,715	(1)	(1,400)	(3)	(2,800)	
計	23	86,849	(5)	(13,200)	(4)	(3,200)	(4)	(3,800)	(4)	(2,800)	(2)	(4,800)	(1)	(1,100)	(2)	(6,400)	(22)	(35,300)	

※備考 1 上段( )内は継続課題の内定数で内数

2 金額は平成20年度申請(内定)額

平成 20 年度（財）住友財団 環境研究助成 交付決定

(研究協力課)

所 属	職名	氏名	研 究 課 題	交 付 金 額
社会環境工学科	教授	中山 恵介	世界遺産“知床”を例とした同位対比 および分布型流出モデルによる栄養 塩循環過程の解明	1,400 千円

平成 20 年度（財）北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）

研究開発助成事業（若手研究人材育成事業）交付決定

(研究協力課)

所 属	職名	氏名	研 究 課 題	交 付 金 額
機器分析センター	講師	大津 直史	マイクロアーク酸化による可視応答性 Sドープ TiO <sub>2</sub> 製造法の開発	380 千円

### 平成20年度共同研究の受入状況

平成20年11月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等
社会環境工学科	准教授	高橋 清	減災対策における(避難者支援から見た)企業の役割に関する基礎的研究	北見土木技術協会
国際交流センター	教授	山岸 喬	白老薬膳料理の調査・研究	白老町
国際交流センター	教授	山岸 喬	免疫・癌の個性診断を可能とするレクチン/抗体複合型診断医薬品の開発	(独)科学技術振興機構
機械工学科	准教授	鈴木 聡一郎	下肢骨格に適したスキーブーツのソール設計に関する研究	(有)キャンプダンガリー
マテリアル工学科	教授	青木 清	非Pd系水素分離・精製合金の研究開発	新日本石油(株)
電気電子工学科	准教授	菅原 宣義	送電設備の落水対策技術に関する研究(その4)	東京電力(株)
情報システム工学科	助教	前田 康成	外部要因の変化を反映したマルコフ決定過程を用いた債権ポートフォリオ制御に関する研究	(株)カンテック
バイオ環境化学科	教授	青山 政和	ササ稈キサンチンの加水分解	北海道三井化学(株)
機械工学科	准教授	鈴木 聡一郎	日本人の骨格に適したスキーブーツ設計に関する研究	隆祥産業(株)

平成20年度累計 89件

### 平成20年度受託研究の受入状況

平成20年11月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費 円
マテリアル工学科	准教授	南 尚嗣	平成20年度摩周湖の透明度の低下原因解明と総合的環境保全に関する研究	(独)国立環境研究所	1,080,000
社会環境工学科	教授	榎本 浩之	平成20年度IAXC-JAXA情報システム(IJIS)及び衛星データを利用した北極圏研究業務	国立大学法人 北海道大学	4,850,000

平成20年度累計 20件

### 平成20年度奨学寄附金受入状況

平成20年11月30日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額 円
北見工業大学	学長	鮎田 耕一	工学研究、教育、大学運営のため	宮脇大木建設(株)	10,000,000
社会環境工学科	教授	山下 聡	工学研究のため	(有)シー・エス・プランニング	350,000
機械工学科	准教授	渡辺 美知子	機械工学の研究のため	(有)情報総合研究所	100,000
社会環境工学科	准教授	永禮 英明	湖沼流域管理に関する研究助成のため	パシフィックコンサルタンツ(株)	1,000,000
社会環境工学科	准教授	高橋 清	工学研究のため	日本工営(株)	315,000
共通講座	教授	鈴木 一央	体育・スポーツ研究のため	鈴木 一央	350,000
機械工学科	教授	富士 明良	接合半田分析のため	北見東京電波(株)	300,000
技術部	技術部員	岡田 包儀	補強素材混入コンクリートの耐凍害性検討・評価の技術指導のため	(株)西村組	900,000

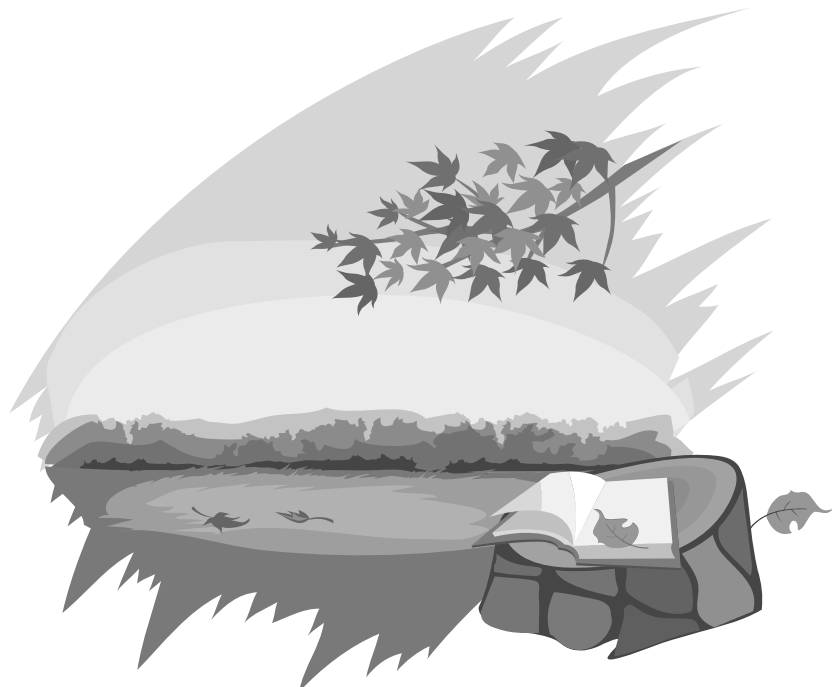
平成20年度累計 51件

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
20.9.30	工学部教授	下村 五三夫	辞職
20.10.1	(新規採用)	伊関 敏之	工学部教授
"	(新規採用)	佐藤 利次	工学部准教授



## = 国際交流 =

### 台湾 4 大学で進学説明会を実施

(研究協力課)

11月16日から22日までの日程で、山岸国際交流センター長、本庄国際交流推進室係長、台湾出身の留学生リンさんの3名が、台北科技大学、中興大学、中国医薬大学、台湾勤益科技大学を訪問し、進学説明会を開催しました。説明会の内容は、まずセンター長がパワーポイントを使った大学紹介を行い、後に質疑応答の時間を設け、学生の疑問に直接答えるというものです。

今回は特に大学院の学生の受入に注力し、入学までの道筋から、学生生活、卒業後の進路に至るまで、具体例や実績、時には笑いを交えてわかりやすく説明し、本学のチャームポイントをうまくイメージさせることができたように思います。

特に多かった質問は、日本語能力の必要性、英語だけでも可能か、英語の授業はあるか、入学試験は英語で受験可能かといった言葉の問題と、留学にかかる費用、奨学金、授業料免除といった経済的な問題でした。中には込み入った内容の質問もありましたが、今回同行した台湾出身の留学生リンさんによる、実体験を披露した説明が功を奏し、学生がほしい情報をたつぷりと、かつ、わかりやすく伝えることができました。

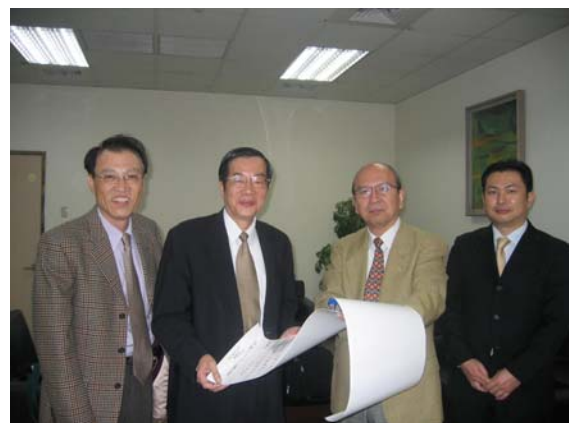
説明会の後、各大学の学長をはじめ、研究者、事務職員と懇談し、今後の研究者、学生の交流や国際共同研究について、活発な話し合いが行

われました。特に、博士ダブルディグリープログラムについては、常に話題に上りました。このプログラムの提携に際しては、双方のコース内容が同じであることが前提となることや、英語による授業の必要性など課題が多く、簡単ではありませんが、グローバル化社会をリードする次世代の人材を育成し、学生が将来世界で大きく飛躍する道を拓くプログラムであり、優秀な学生に対する訴求効果も高いことから、実現へ向けた対応が必要と感じました。

今回の訪問にあたっては、センター長の人脈を通じて事前調査を綿密に行うなど、将来的に交流の可能性の高い大学をピンポイントで訪問することで、より効果的なプロモーションを行うことができたと自負しています。また、昨今のネット社会においては、誰でもパソコンを通じて手軽に情報が得られ、メールを通じて簡単にコミュニケーションできる環境にありますが、こうして実際に訪問して目と目を合わせて懇談し、時に酒を酌み交わし交流することで得られる信頼関係には計り知れないものがあることを実感しました。今後はこの信頼関係を糧にしながら、今回得られた教職員、学生の生の声を本学独自の戦略的な国際交流の企画立案に生かしていきたいと考えています。



山岸センター長によるパワーポイントを使った大学紹介



左から中国医薬大学温國慶教授、黄榮村学長、山岸センター長、本庄国際交流推進室係長

## ISO14001 登録継続の承認について

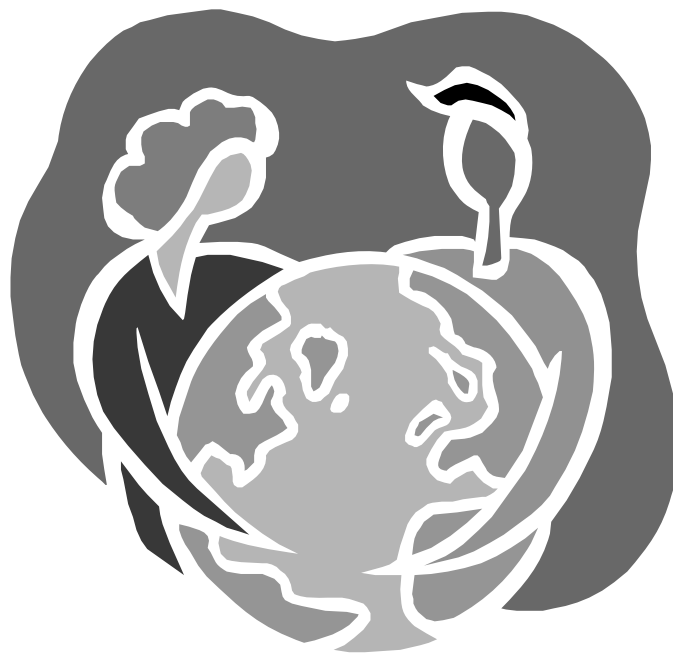
(施 設 課)

9月18日(木)・19日(金)の2日間、国際的な環境マネジメントシステム規格「ISO14001」の維持審査が実施されました。

審査登録機関から審査員1名が本学を訪れ、審査員と対象部門担当者全員による初回会議の後、学生や教職員が取り組んでいる環境マネジメントシステムの実施状況等について審査が行われました。

本学では「自然と調和するテクノロジーの発展を目指す大学」をスローガンに環境方針を策定し、教職員・学生が一体となって推進してきました。

今回で ISO14001 の認証を受けて2度目の維持審査となりましたが、10月27日付けで環境マネジメントシステムの登録継続が承認されました。





## 父母懇談会（秋季・盛岡、大阪）を開催

（学生支援課）

例年開催している「父母懇談会（秋季）」を、盛岡会場は10月19日（日）盛岡市マリオスを会場として、大阪会場は11月8日（土）大阪府私学教育文化会館を会場として、外国人留学生及び大学院博士後期課程を除く全学生の父母を対象としてそれぞれ実施しました。

盛岡会場には、68組100名の父母が参加し、全体説明会において、田牧副学長からは「本学の教育及び就職状況等」について説明がありました。また、同窓会東北支部長からは、同窓会の活動状況が報告されました。

なお、大阪会場には、89組127名の父母が参加し、全体説明会において、田牧副学長か

らの説明の後、同窓会関西支部長から同窓会の活動状況が報告されました。

いずれの会場とも、各学科・専攻に分かれた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは修学状況、就職等について質問が出され熱心にやりとりが交わされました。

また、全体説明会の後、個別面談までの待ち時間には、田牧副学長が、父母からの質疑に回答する時間が設けられ、大学生活の内容や学生をとりまく生活環境に焦点がおかれた質問、就職や大学院への進学に関する質問など多岐に渡り質疑応答が行われました。



全体説明会の様子（盛岡）



全体説明会の様子（大阪）

## 消防訓練を実施

(施設課)

10月20日(月)、マテリアル工学科棟及び機器分析センター棟にて消防訓練を実施しました。

今回は、マテリアル工学科棟3階から出火という想定で、通報・初期消火・避難救助の総合訓練を行い、参加した学生及び教職員は自分の役割を確認しながら訓練に取り組みました。

その後行われた梯子車による屋上からの避難訓練では、迅速な動きに参加者は驚いていました。

続いて、屋内消火栓の放水訓練、消火器の取扱訓練を行い、参加者は緊張しながらも真剣に取り組みました。

訓練終了後、北見地区消防組合消防署佐藤副署長からは、緊急時における素早く正確な情報の伝達の重要性について、鮎田学長からは常日頃から防災設備及び避難口の確認を行うことについて話があり、無事訓練を終了しました。



梯子車による避難訓練



消火器を使っでの消火訓練

## 平成 20 年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式

(企画広報課)

平成 20 年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式が 11 月 21 日(金)午後5時から学長室において行われました。

表彰式では、鮎田学長から永年勤務者表彰被表彰者に対し、表彰状の授与並びに記念品の贈呈を行い、永年にわたる貢献への感

謝とお祝いの言葉が贈られました。

また、式終了後の記念撮影に引き続き祝賀会が開催され、30 年前の環境工学科設置当時の思い出話などで盛り上がる中、午後6時和やかなうち終了しました。

被表彰者は、次のとおりです。(50 音順)

### 30 年勤務者

氏 名	所属学科等
伊 藤 純 一	共通教育グループ
沖 本 光 宏	バイオ環境化学科
久 保 明 彦	機械工学科
船 木 稔	バイオ環境化学科
星 雅 之	バイオ環境化学科
松 田 弘 喜	技術部
三 上 修 一	社会環境工学科

### 20 年勤務者

氏 名	所属学科等
山 田 浩 嗣	情報システム工学科



永年勤務者表彰式の様子



永年勤務者表彰被表彰者

## 健康チェック及び栄養士による栄養相談を実施

(学生支援課)

11月26日(水)に、本学と北見工業大学生活協同組合との共催で、学生が自身の生活のあり方を振り返り、健康及び食生活に関心を持つきっかけとなるよう「健康チェック及び栄養士による栄養相談」を実施しました。

会場となったコミュニケーションアトリウムには、授業が終わった学生や業務の合間をぬって教職員が訪れ、各自が思い思いに、身長、体重、体脂肪率、骨量、肌水分量、アルコールパッチテスト等の健康チェックを行い、測定結果に一喜一憂していました。

また、炊飯器やレンジで手軽に作れる「簡単レシピの実演紹介」では、試食をしながら作り方のコツや食材の保存方法など、講師の話に熱心に耳を傾けたり、会場の一角に設けられた健康相談及び栄養相談コーナーでは「朝起きることができない」等、日常生活での心配事などを相談し、生活改善に向けたアドバイスを受けていました。

この企画は今後も、学生が日頃から感じている心身両面の問題について助言が受けられるよう、継続して実施していく予定です。



健康チェックの様子



簡単レシピ紹介の様子

## 科学技術総合研究委託「地域再生人材育成事業採択校連絡会議」 ：メガ・ウェンズデー開催

(研究協力課)

11月26日(水)・27日(木)に、文部科学省科学技術総合研究委託「地域再生人材育成事業採択校連絡会議・パネル展」と、オホーツク地域の経済振興を図るイベントをマッチングしたメガ・ウェンズデーを開催しました。

地域再生連絡会議は、今年度2回目、通算で4回目となるもので、琉球大学・熊本大学・長崎大学・阿南工専・奈良高専・金沢大学・山形大学・岩手大学・弘前大学・帯広畜産大学・(独)科学技術振興機構の11機関20名の参加があり、パネル展には島根大学からも出展されました。

今回は、「地域共同研究センター産学官連携推進員・協力員合同会議(以下「産学官合同会議」という)と北見市産学官連携推進協議会(以下「北見市協議会」という)主催のイベントとの共同開催となりました。

26日には、第2回産学官合同会議(参加21市町村・関連機関)と、この会議の第2部の位置づけとした「地域と大学の連携による地域再生」がテーマの「地域再生・産学官連携ビジネスセミナー」が開催され、(独)産業技術総合研究所北野邦尋北海道センター所長の挨拶の後、同じく産総研の扇

谷悟ゲノムファクトリー研究部門副研究部門長による基調講演が行われました。引き続き、「農業・食部会」と「新産業部会」の2部会に分かれた各採択機関の地域における事例紹介セミナーが開催され、各地における問題点とそれらに対する各大学・高専の特色ある取り組みが紹介され、会場一杯となった参加者による活発な質疑応答がありました。

同時に「北見工業大学ラボ・ツアー」、「パネル展」、中小企業基盤整備機構・オホーツク産学官融合センターによる「中小企業個別無料相談会」、北海道中小企業家同友会オホーツク支部による「市内企業への就職相談会」、及び北見市協議会による北見市特産品「白花豆」を使用した「北見スイーツ試食会」などが開催され「メガ・ウェンズデー」と称する大きなイベントとなりました。

27日開催の「採択校連絡会議」には、(独)科学技術振興機構からも磯部俊吉プログラム主幹、宮岸明主任調査員が参加され、各採択大学それぞれの事業進捗状況報告、問題点の提起、他の情報交換を行い、稔り多い会議となりました。



産学官合同会議開会の挨拶をする高橋CRC長



産総研：扇谷ゲノムファクトリー副研究部門長の基調講演



ラボ・ツアー:ドライビングシミュレーターでBMWの  
アウトバーン130km走行擬似体験



ビジネスセミナー 農業・食部会風景



パネル展 風景



市内企業への就職相談会 風景



北見スイーツ試食会でアンケートに答える女子学生



地域再生人材育成事業採択校連絡会議 風景

## = 日誌 =

(企画広報課)

10 月	11 月
1 日 後期授業開始 秋季入学式	5 日 施設環境委員会 発明審査委員会
6 日 役員会	6 日 教務委員会
7 日 入学者選抜委員会 推薦入学者選抜実施委員会	7 日 就職ガイダンス
10 日 情報システム運営委員会 インターンシップ事後研修	8 日 父母懇談会(秋季・大阪)
14 日 役員会	10 日 役員会 合同企業研究セミナー事前説明
16 日 教育研究評議会	12 日 広報委員会 入学者選抜委員会 推薦入学者選抜実施委員会
17 日 教務委員会 就職ガイダンス	15 日 合同企業研究セミナー(～16日)
19 日 父母懇談会(秋季・盛岡)	17 日 役員会
20 日 消防訓練	18 日 学生委員会
21 日 フィジカルヘルス講演会 学生委員会	19 日 教育研究評議会
23 日 キャリア支援セミナー	20 日 知的財産セミナー
24 日 就職ガイダンス	21 日 永年勤務者表彰式
27 日 図書館委員会	26 日 施設環境委員会 メガ・ウエンスデー 健康チェック及び栄養士による栄養相談
28 日 不正防止対策室会議 地域共同研究センター産学官連携推進 会議 産学官連携地域支援体制検討会議	29 日 合同企業研究セミナー(～30日)
29 日 ボランティア講習会	